

タイトル	ロバート・グリーンのいかさまに関するパンフレット			
分野	キーワード	①ロバート・グリーン	②パンフレット	
人文学				
研究者氏名: 本多 まりえ (所属: ライフデザイン学部)	[お問い合わせ先] TEL: 048-468-6789 メールアドレス: honda031@toyo.jp			

**【概要】**

本研究はシェイクスピアと同時代の作家ロバート・グリーン(Robert Greene)のいかさまに関するパンフレット(cony-catching pamphlets)におけるジャーナリズムの萌芽や当時の大衆文化を目的とする。

**【研究内容】**

パンフレットつまり4折本という形の小冊子は、16世紀後半のエリザベス朝のイングランドでは、印刷文化において中心的役割を果たし、政治、宗教、地震、怪物、魔女狩り、文学など、あらゆるジャンルを主題とし多くは散文で書かれた。ロバート・グリーン(1558-92)は劇作品も手がけたが、文学的パンフレットの分野でより大規模に活躍し、これにはロマンスや自叙伝、諷刺など様々なジャンルがある。そしてこの中に、カード賭博、スリ、巾着切り、馬泥棒など当時のロンドンで横行していたいかさまに関する犯罪を主題としたシリーズがあり、全部で6作品ある。

本研究ではこれら6作品、すなわち、*A Notable Discovery of Cozenage* (1591)、*The Second Part of Cony-Catching* (1591)、*The Third Part of Cony-Catching*(1592)、*A Disputation between a He Cony-Catchier, a She Cony-Catcher* (1592)、*The Black Book's Messenger* (1592)、*The Defence of Cony-Catching* (1592) を取り上げ、当時の社会問題であった貧民や犯罪者を論じた他の作品、ジョン・オードリー(John Awdley)、トマス・ハーマン(Thomas Harman)、トマス・デッカー(Thomas Dekker)の作品などと比較し、グリーンの特異性や重要性を考察すると共に、エリザベス朝の大衆文化を少しでも解明できればと思う。

**【実用化・活用が見込まれる分野・対象業種等】**

英文学、英国社会史・出版史など。

**【関連特許】(特許名称・出願番号等)**